

便利なローラートレイ付広口容器 (特許 第4386785号) の使い方

この容器はローラーバケが直接入り、天面のトレイ部分で塗料をしごくことができる画期的な容器です。下記の使用方にしたがってご使用下さい。

使用するローラーバケはミドルローラーやスリムローラーが適しています。

使用方法 ●使用前に容器を前後によく振り、中の塗料を均一にします。(フタが開くおそれがありますので、注意して下さい)

① フタが容器の口に落ちないよう、フタについているつまみを持ちながら、フタの矢印のところで容器の角の隅に、マイナードライバーを差し込んでフタを開けます。フタの裏や容器の口の裏に、半乾きの塗料がついていることがありますので、ウエスで拭き取り、フタは保管しておきます。

② 右のようにラップでおおっておくと、洗う手間がなくなり後始末が簡単です。

③ 棒などで容器の底までよくかき混ぜ、塗料を均一にします。

④ ローラーバケを容器の中に入れてローラー部分に塗料をつけます。

⑤ 天面のトレイ部分でローラーを転がし、塗料をまんべんなくなじませて塗装します。

容器をラップでおおう方法

②-1 サグ手はトレイ部の方へ倒した状態で、ラップを容器の天面より大きめにカットし、缶の天面全体をおおいます。(ポリ塩化ビニリデンのラップをお使い下さい)

②-2 ラップを容器の天面にフィットするように軽く押さえ置き、余ったラップを缶側に巻きつけます。

②-3 容器の口の部分のラップにカッターナイフなどで切り込みを入れ、ローラーバケが入るようになります。カットしたラップは容器の口の内側へ巻き込みます。

②-4 サグ手を持って場所を移動する時は、トレイ部のラップを容器の口の方へめくりあげてサグ手を持って下さい。再度、塗装する時はサグ手をトレイ部に倒しラップもトレイに戻して下さい。

使用上の注意

1. 塗装下地に腐敗菌、カビ菌がついている場合があり、その菌が容器内の塗料に混ざり込むと保管中に塗料が変質することがあります。早めに塗料を使い切ってください。

2. 蓋下によりフタが開いた、容器が変形することがありますので、容器の取り扱いに注意して下さい。



ソフトなツヤ

無臭
水性

ビッグ10
1回塗り

高性能
シリコンアクリル樹脂塗料

超耐久
強力フッ素パワー
紫外線劣化防止剤(HALS)配合

- 1 モルタル
- 2 ブロックベ
- 3 浴室・台所
- 4 屋内外かべ
- 5 木部・木製品
- 6 ガーデニング
- 7 門扉・鉄柵
- 8 コンクリート
- 9 プラスチック
- 10 その他

(社)日本塗料工業会登録
登録番号 A02114
F☆☆☆☆
問合せ先 <http://www.koryo.or.jp>
建築基準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が極めて少ない区分で、居室等に無制限に使用できます。

強力カビどめ剤配合
強力サビどめ剤配合

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は使用していません。

乾燥時間
夏期/30分~1時間
冬期/ 2~3時間

塗り重ね時間の目安
夏期/2時間以上
冬期/6時間以上

標準塗り面積 (1回塗り)
71~94㎡ 42~56㎡

10L

水
50%以上
50%以上

- 汚れに強い
- 塩害・紫外線に強い
- 酸性雨・排気ガスに強い

多用途



ソフトなツヤ

無臭
水性

ビッグ10
1回塗り

高性能
シリコンアクリル樹脂塗料

超耐久
強力フッ素パワー
紫外線劣化防止剤(HALS)配合

- 1 モルタル
- 2 ブロックベ
- 3 浴室・台所
- 4 屋内外かべ
- 5 木部・木製品
- 6 ガーデニング
- 7 門扉・鉄柵
- 8 コンクリート
- 9 プラスチック
- 10 その他

(社)日本塗料工業会登録
登録番号 A02114
F☆☆☆☆
問合せ先 <http://www.koryo.or.jp>
建築基準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が極めて少ない区分で、居室等に無制限に使用できます。

強力カビどめ剤配合
強力サビどめ剤配合

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は使用していません。

乾燥時間
夏期/30分~1時間
冬期/ 2~3時間

塗り重ね時間の目安
夏期/2時間以上
冬期/6時間以上

標準塗り面積 (1回塗り)
71~94㎡ 42~56㎡

10L

水
50%以上
50%以上

- 汚れに強い
- 塩害・紫外線に強い
- 酸性雨・排気ガスに強い

多用途

商品名 水性ビッグ10多用途 **品名** 合成樹脂塗料(水系)

成分 合成樹脂(シリコンアクリル・フッ素)、顔料、紫外線劣化防止剤(HALS)、サビドめ剤、防カビ剤、水

特長

- 特殊フッ素樹脂、反応硬化型シリコン変性アクリル樹脂、紫外線劣化防止剤(HALS)の相乗効果により、汚れにくく、耐久性が格段に優れた高性能塗料です。
- 白系塗料には自動車用にも使用されている高性能二酸化チタンを使用しています。
- いやな臭いのしない無臭タイプで、1回塗りで仕上がります。
- サビドめ剤、防カビ剤を配合していますので、サビやカビの発生を防ぎます。
- 厚塗りしてもタレにくく、たいへん塗りやすい塗料です。
- ドア・戸・窓枠・板べい・ガーデン用品など屋内外の木部や家具・木工品などの木製品。
- 浴室・台所・居間などのしつこいモルタル・コンクリート壁・板壁、コンクリート・ブロック・各種サイディングなどの外壁やへい。
- フェンス・門扉・鉄柵・看板・おもちゃなどの鉄部、鉄製品。
- 発泡スチロール・アクリル・硬質塩ビのプラスチック類。

カベ紙、布、カベ紙、コンクリート、浴槽には適しません。絶えず水がかかると、水につかる場所やいつも濡れているところ、また床面、テーブル・カウンターの天面の天面には適しません。

塗装方法

- ① 表示の用途以外には使用しないで下さい。② 体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。③ 目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱って下さい。皮膚に付着したまま放置すると炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。④ 塗液中、乾燥中とも換気をよくし、その後も塗料の臭いがないまでは、ときどき換気をして下さい。⑤ 塗料がこぼれても汚染がひどくても作業して下さい。⑥ 塗装は雨の降るような日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。⑦ 塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。⑧ 濃い色の上や、凹凸の大きな面に塗る場合や、うすめずたり、うすく塗りすぎると、1回塗りで仕上がらないことがあります。⑨ 塗り重ねるときは、夏期2時間以上、冬期6時間以上乾かしてから塗って下さい。⑩ コンクリート・モルタル・しつこいなどのアルカリ素材の上に塗ると、一時に臭いが強くなる場合があります。⑪ 特殊なサイディングやコーキング材・シーリング材の中にはハジキが生じたり密着しないものがあります。目立たない部分で試し塗りをして、密着することを確認してから塗って下さい。⑫ 高温になると塗料が硬化する傾向があります。また塗膜と塗膜・軟質塩ビシート・ビニールシート等が強い力で重なり合うと、くっつくことがあります。⑬ 塗り重ねるときは、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。⑭ 容器は塗料を使い切った後捨てて下さい。⑮ 水や砂を塗料に落とすときは、水性塗料用紙に吸着させるか、新聞紙などに塗り付け、乾かしてから一般ごみとして処分して下さい。⑯ 容器を落下させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意

(塗膜のフクレ・ハガレ防止のため、以下の処理をして下さい。)

- ① つるつるした面は、サンドペーパーで表面を粗してから塗って下さい。
- ② 旧塗膜を剥がって粉が手につく場合や、木質系および無機セメント系のサイディングに塗るときは、必ずアサヒペン塩性シーラーまたはアサヒペン塩性水性シーラーを下塗りして下さい。
- ③ 土壁・砂壁・せまい壁などに塗るときは、アサヒペンカベ塗料用下塗り剤またはアサヒペン水性シーラーを下塗りして下さい。
- ④ タコ(コ)のヤニやサインペンの汚れの上に塗装するときは、施工後1ヶ月以上経ってから行い、必ずアサヒペン塩性水性シーラーまたはアサヒペン塩性水性シーラーを下塗りして下さい。
- ⑤ カビがはえている所は、カビリ剤でカビを取ってから塗って下さい。

取扱い上の注意

- ① 目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱って下さい。皮膚に付着したまま放置すると炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。② 体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。③ 目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱って下さい。皮膚に付着したまま放置すると炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。④ 塗液中、乾燥中とも換気をよくし、その後も塗料の臭いがないまでは、ときどき換気をして下さい。⑤ 塗料がこぼれても汚染がひどくても作業して下さい。⑥ 塗装は雨の降るような日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。⑦ 塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。⑧ 濃い色の上や、凹凸の大きな面に塗る場合や、うすめずたり、うすく塗りすぎると、1回塗りで仕上がらないことがあります。⑨ 塗り重ねるときは、夏期2時間以上、冬期6時間以上乾かしてから塗って下さい。⑩ コンクリート・モルタル・しつこいなどのアルカリ素材の上に塗ると、一時に臭いが強くなる場合があります。⑪ 特殊なサイディングやコーキング材・シーリング材の中にはハジキが生じたり密着しないものがあります。目立たない部分で試し塗りをして、密着することを確認してから塗って下さい。⑫ 高温になると塗料が硬化する傾向があります。また塗膜と塗膜・軟質塩ビシート・ビニールシート等が強い力で重なり合うと、くっつくことがあります。⑬ 塗り重ねるときは、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。⑭ 容器は塗料を使い切った後捨てて下さい。⑮ 水や砂を塗料に落とすときは、水性塗料用紙に吸着させるか、新聞紙などに塗り付け、乾かしてから一般ごみとして処分して下さい。⑯ 容器を落下させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

危険

- 塩化水素系のおそれ
- 水生生物に毒性

取扱い上の注意

- ① 幼児の手が届かないところに保管し、子供が誤飲・誤食・いたずらしないように注意して下さい。
- ② 直射日光や火気のある場所、5℃以下にならないところ、自動車内などの温度が高くなると、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
- ③ 残った塗料は、しっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切ってください。

用具の手入れ方法

塗料が乾かないうちに、水で洗って下さい。

保管上の注意

- ① 幼児の手が届かないところに保管し、子供が誤飲・誤食・いたずらしないように注意して下さい。
- ② 直射日光や火気のある場所、5℃以下にならないところ、自動車内などの温度が高くなると、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
- ③ 残った塗料は、しっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切ってください。